

第4章 計画の基本理念と基本的方向

第1節 計画の基本理念と将来見通し

(1) 計画の基本理念

本市の平成26年10月1日現在の高齢化率は20.6%と全国値と比べ低くなっていますが、団塊の世代が高齢期に入っていることから、今後伸びていくものと見込まれます。特に、団塊の世代の市民が後期高齢期に入る平成37年(2025年)に向けて、高齢者のライフスタイルや生活意識、ニーズなどがさらに多様化していくことが予測されます。高齢期を迎えても、それぞれが、豊富な経験や知識、特技などを地域社会に活かすことができる環境づくりとともに、互いに助け合い支え合う、参加と協働による共助のまちづくりを進めることが求められています。

その一方で、高齢化の進展は要介護者などの増加につながることから、介護予防対策を通じて一人ひとりの健康寿命の延伸を図るとともに、介護・医療などの支援を必要とする高齢者が、可能な限り住みなれた地域で個人の尊厳やその人らしい生き方が尊重され、自立し安心して生活していくことができるよう、市民、事業者などと連携・協働して、高齢者の地域生活を支えるシステムの構築・充実を図っていく必要があります。

これまで本市においては、第5期計画はもとより、市の総合振興計画の基本理念である「元気・健やか・幸せのまちづくり」と、地域福祉計画の基本理念である「互いを認め合い 支え合いの輪を広げ 地域のきずなを育む」を踏まえ、高齢者施策を推進してきました。

第6期計画では、団塊の世代が後期高齢期に入る平成37年(2025)年を見据え、第5期計画で着手された地域包括ケアの考え方を発展させ、ひとり暮らしや要介護状態になっても住みなれた地域で安心して暮らせる共生のまちづくりが一層重要となります。

このため、本計画においては、これまでの基本理念を踏まえるとともに、市民、関係機関・団体、市がそれぞれの立場で高齢者を支えるための連携を強化していく中で、高齢者が住みなれた地域で安心して、その人らしく暮らせる支え合いのまちづくりを目指します。

■計画の基本理念

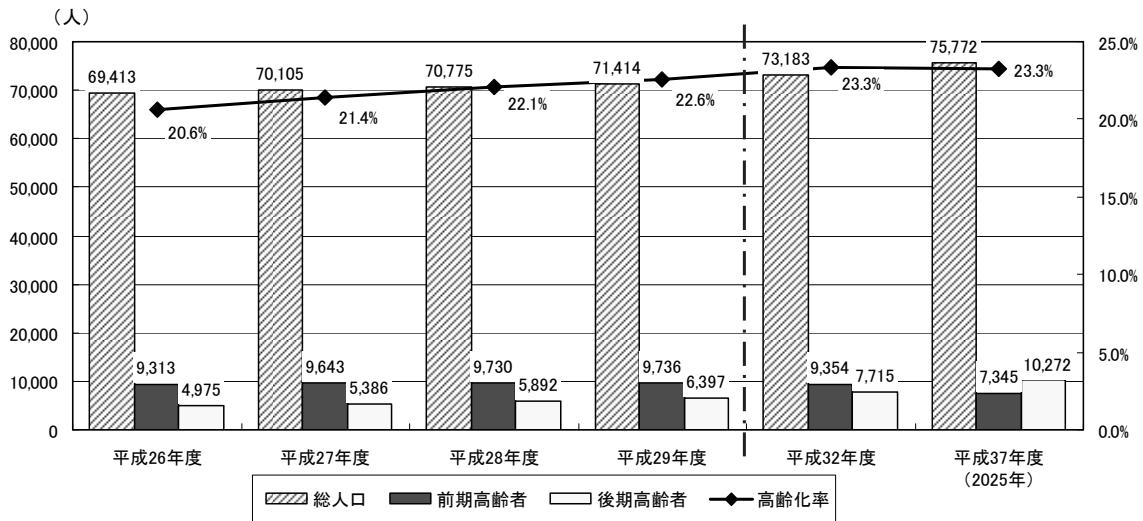
**高齢者が住みなれた地域で安心して、
その人らしく暮らせる支え合いのまち・吉川市**

(2) 将来人口推計

① 将来人口の見通し

本市の人口は平成26年度の69,413人から増加傾向で推移し、平成29年度には71,414人（2.9%増）となるものと推計されます。65歳以上人口は平成26年度の14,288人から平成29年度の16,133人へと1,845人（12.9%）増加し、高齢化率も2%上昇して22.6%となる見込みです。

■ 吉川市の将来推計人口



	実績	推計				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度	平成37年度
総人口	69,413	70,105	70,775	71,414	73,183	75,772
高齢者全体	14,288	15,029	15,622	16,133	17,069	17,617
前期高齢者	9,313	9,643	9,730	9,736	9,354	7,345
後期高齢者	4,975	5,386	5,892	6,397	7,715	10,272
高齢化率	20.6%	21.4%	22.1%	22.6%	23.3%	23.3%
40~64歳	23,411	23,503	23,703	23,895	24,712	26,346

<出典>住民基本台帳より

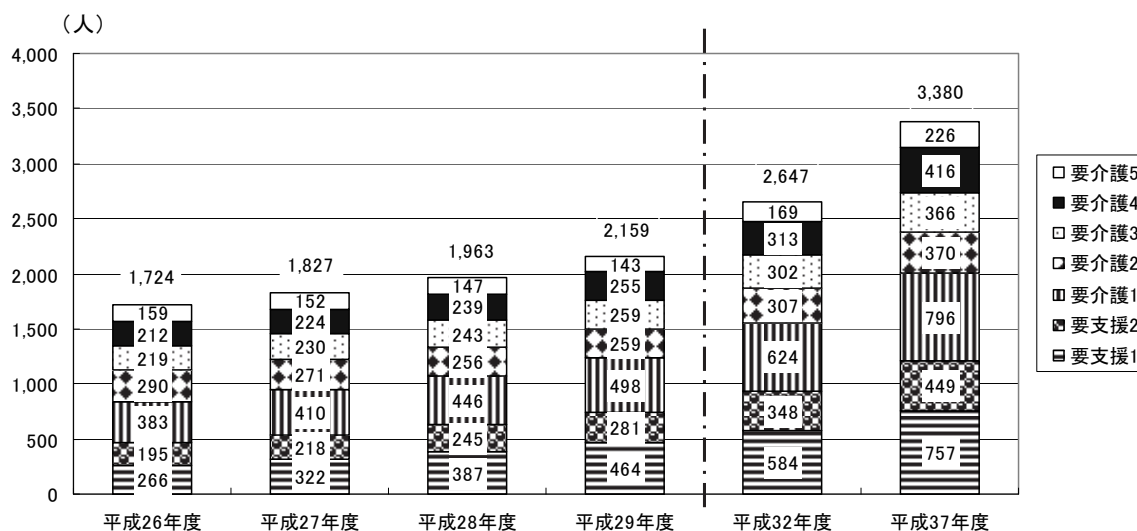
※コホート変化率法による推計。平成26年度は実績、各年10月1日現在、平成27年以降は推計値

※「コホート変化率法」とは、各コホート（同じ年（又は同じ期間）に生まれた人々の集団）について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法である。

② 要介護（要支援）認定者数の見通し

本市の要介護（要支援）認定者は年々増加し、平成29年度には2,159人、平成37年度（2025年）には3,380人に増加すると見込まれます。65歳以上人口に占める割合も、平成29年度には13.4%、平成37年度（2025年）には19.2%に上昇すると見込まれます。

■要介護（要支援）認定者数の見通し

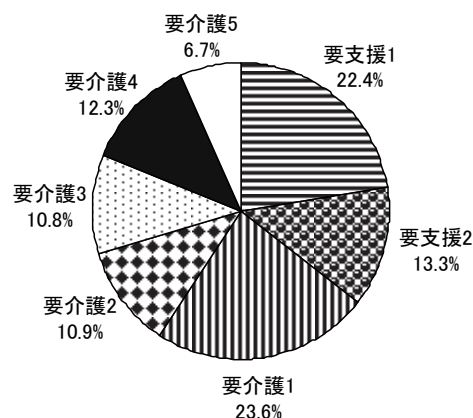
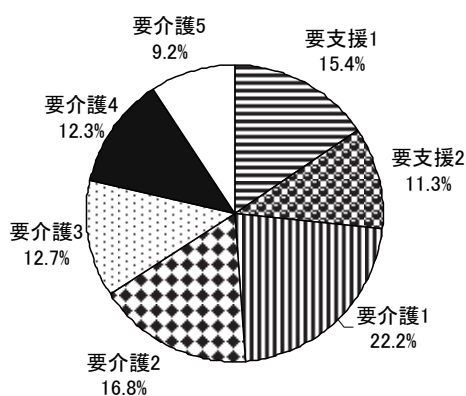


<出典>第6期介護保険事業計画用ワークシートより平成26年度は10月1日現在
平成27年度以降は推計値

■要介護（要支援）別認定者数の割合

(平成26年度)

(平成37年度)



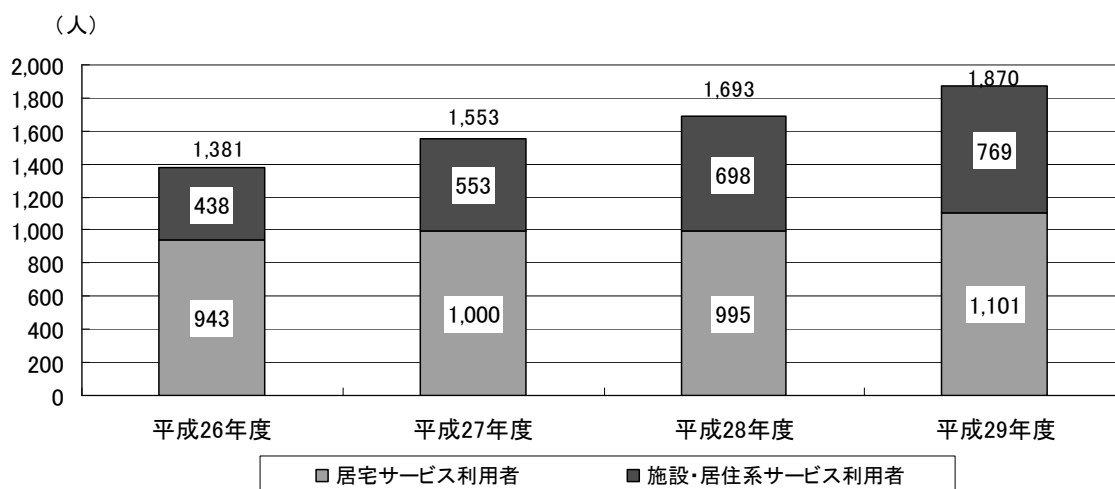
③ 介護サービス利用者（受給者）数の見込み

第6期計画における介護サービス利用者数の見込みをみると、サービス利用者数は平成26年度の1,381人から平成29年度には1,870人となり、489人(35.4%)の増加と見込まれます。

その内訳では、居宅サービス利用者が、平成26年度の943人から平成29年度には1,101人となり、158人(16.8%)の増加となっています。

また、施設・居住系サービス利用者については、平成26年度の438人から平成29年度には769人となり、331人(75.6%)の増加となっています。

■第6期計画の介護サービス利用者（受給者）数の見込み



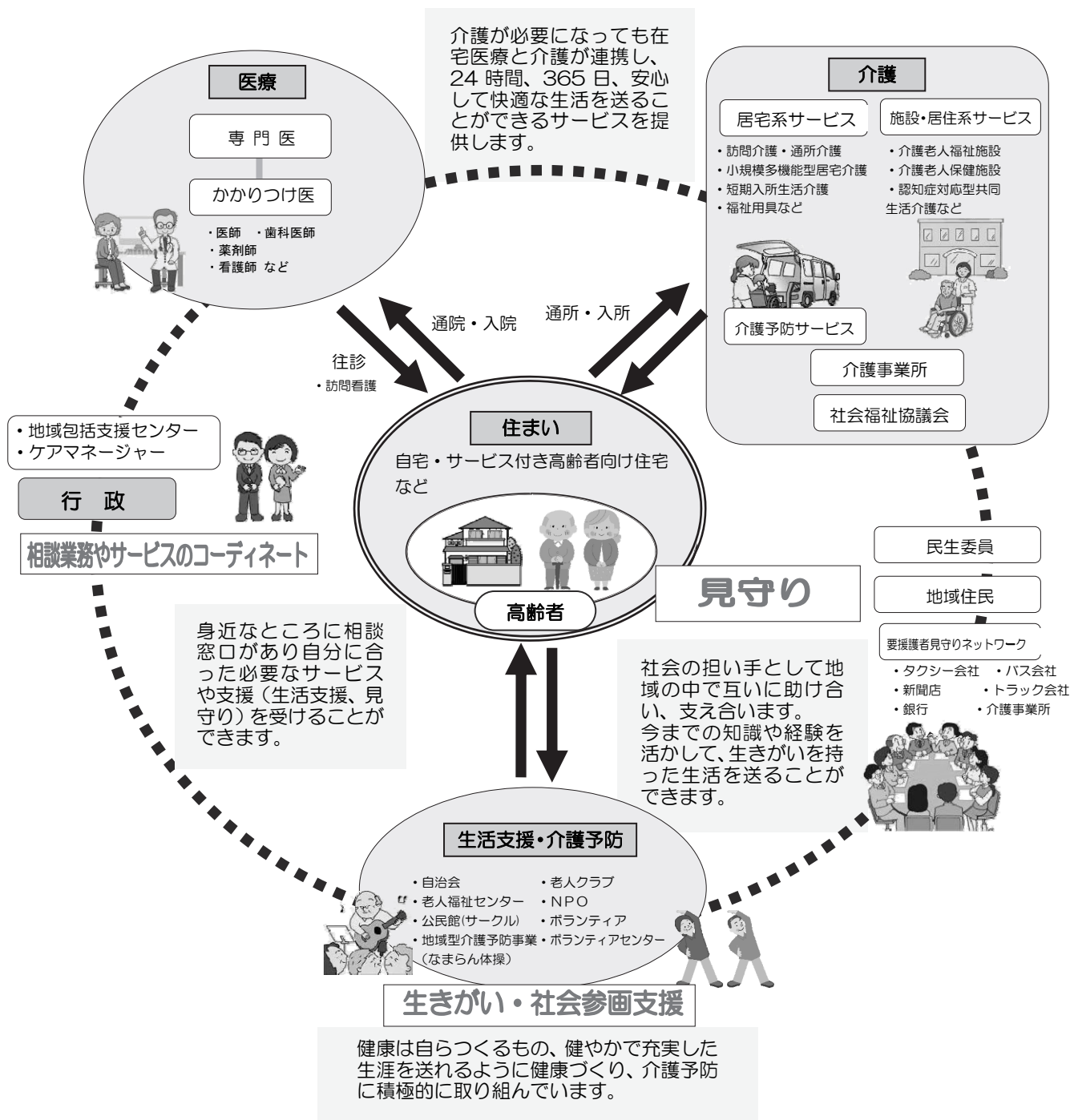
<出典>第6期介護保険事業計画用ワークシートより平成26年度は10月1日現在
平成27年度以降は推計値

第2節 地域包括ケアシステムの構築

第6期計画が目指すこと～平成37年に向けて～
 団塊の世代が75歳以上となる平成37年（2025年）の将来像

高齢者が可能な限り住みなれた地域で、尊厳を保ち、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び生活支援が一体的に提供され、高齢者一人ひとりが自分らしい生活を人生の最後まで営むことができる地域をつくりまします。

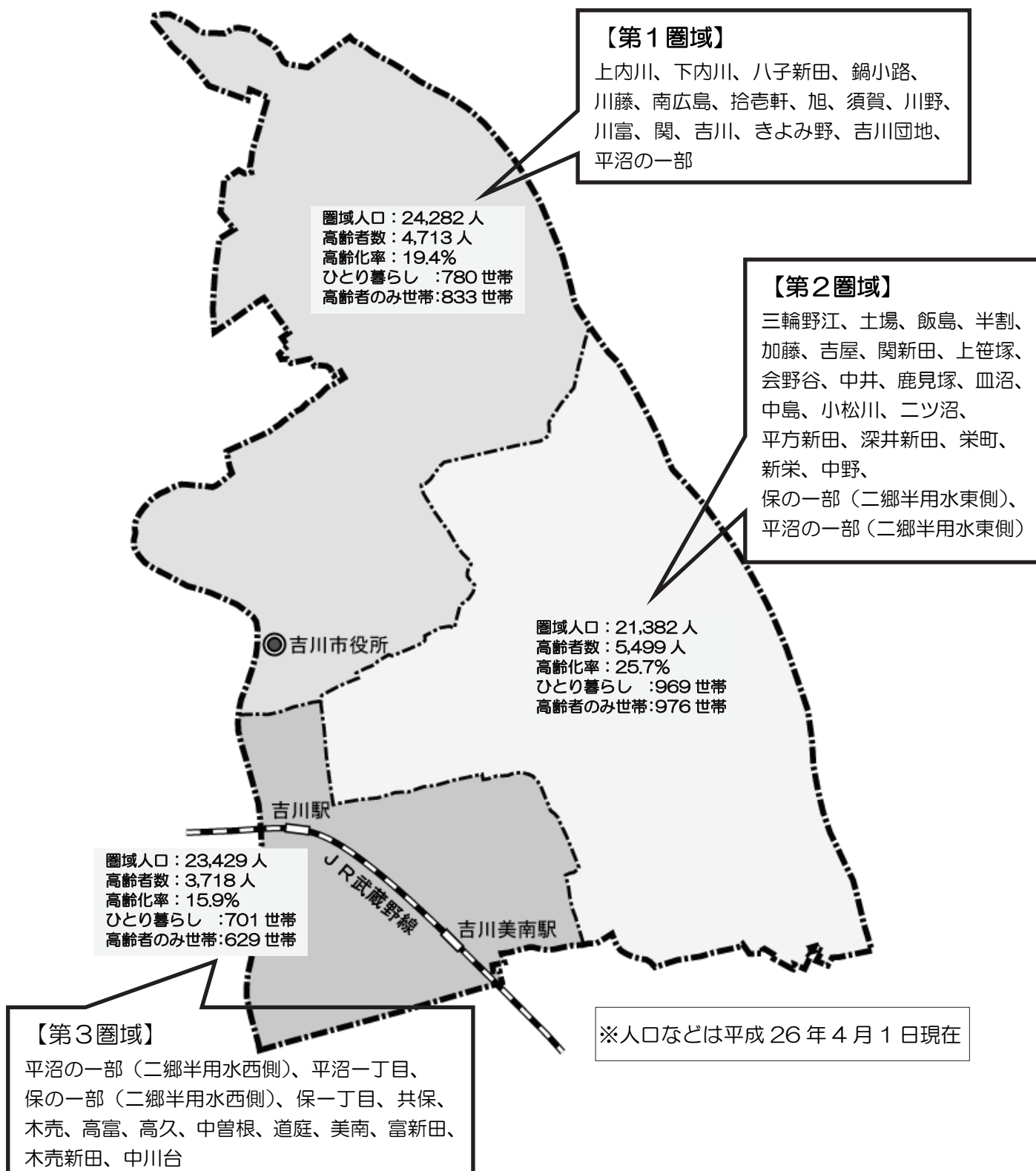
■吉川市の地域包括ケアシステムの構築イメージ図



第3節 日常生活圏域の設定

第6期計画においては、第5期計画に引き続き3つの日常生活圏域を設定し、各地域包括支援センターを中核として地域包括ケアシステムの構築を推進します。

■吉川市の日常生活圏域図



第4節 計画目標と施策の体系

(1) 基本目標

計画の基本理念の「高齢者が住みなれた地域で安心して、その人らしく暮らせる支え合いのまち・吉川市」を目指して、次の6つの基本目標を設定し、施策を推進していきます。

基本目標1：介護予防の推進と健康寿命の延伸

高齢になっても、心身ともに健康でいきいきと暮らしていけるように、健康の保持増進、疾病予防の推進、介護予防体制の充実を図ります。

基本目標2：生きがい活動・社会参加の促進

高齢者が自分の能力を活かし、社会の一員として生きがいのある生活を送れるように、高齢者の自主性を基本に、生きがい・交流活動や社会参画活動の推進を図ります。

基本目標3：地域における自立支援サービスの充実

住みなれた地域で、自分らしく自立した日常生活を営めるように、地域包括支援センターによる支援をはじめとし、多様な主体による日常生活サービスの提供、認知症支援対策の充実、在宅医療と介護の連携強化などを推進します。

基本目標4：安心と尊厳保持のためのサービスの充実

いつまでも自分らしく安定した暮らしを続けることができるよう、ニーズに合った高齢者福祉サービスの提供を行うとともに、高齢者の相談体制を充実し、高齢者の権利擁護を推進します。

基本目標5：介護保険サービスの充実

介護を必要とする高齢者を支えるために、介護保険制度改正への対応のもとに、介護保険サービスの質と量を確保して、介護相談体制の充実、介護給付の適正化、低所得者への支援などを推進し、介護保険事業の円滑な運営、質の充実を図ります。

基本目標6：だれもが暮らしやすいまちづくり

加齢により身体機能の低下や障がいが生じた場合でも、住みなれた地域で安心して暮らせるように、住宅のバリアフリー化の推進、居住の場の確保、安全なまちづくりの推進を図ります。

(2) 施策の体系

【基本目標】

【施策】

